

選挙の概況

1 まえがき

第25回参議院議員通常選挙は令和元年7月4日に公示され、7月21日に投票が行われた。この選挙は、平成25年7月21日執行の通常選挙で選出された議員が任期満了となるため行われたものである。

今回の選挙は、公職選挙法の改正に伴う比例代表選出議員の選挙への特定枠制度及び選挙区選出議員の選挙における政見放送への持込みビデオ方式の導入、投票管理者及び投票立会人の選任要件の緩和、選挙公報の掲載文の申請方法の見直しなど、大幅な改正後に初めて実施された国政選挙であった。

選挙では、選挙区74、比例代表50、計124の議席に選挙区215人、比例代表155人、計370人の立候補者数があり、年金や経済、憲法改正を争点として選挙運動が繰り広げられた。

投票率の全国平均は、選挙区選挙48.80%、比例代表選挙48.79%、本県では、選挙区選挙50.54%、比例代表選挙50.54%であり、ともに全国16位の投票率であった。

明るい選挙の推進については、高校生を含む新有権者による街頭啓発などを各地区で実施するとともに、主に18歳～30歳代の若年層を中心に投票参加を呼びかけた。

2 管理執行

(1) 候補者及び当選人について

大分県選挙区は、定数1人に対し、自由民主党1人、無所属1人、NHKから国民を守る党1人の計3人が立候補し、無所属新人の候補者が当選した。

比例代表は、平成13年の通常選挙から導入された「非拘束名簿式」を基本的に維持しつつも、今回の通常選挙から特定枠制度が導入され、日本共産党4人、自由民主党19人、社会民主党1人、公明党7人、国民民主党3人、日本維新の会5人、立憲民主党8人、NHKから国民を守る党1人、れいわ新選組2人の計50人が当選人と決定された。

(2) 投票状況について

① 投票用紙

選挙区、比例代表それぞれ1,033,000枚を印刷し、選挙区がクリーム色の用紙に黒刷り、比例代表が白色の用紙に赤刷りとし、規格は縦13cm、横9cmの縦長とした。

また、点字器使用者の便宜を図るため、紙質を厚くし、点字シールで選挙の種類を表示した点字投票用紙も選挙区、比例代表それぞれ3,750枚印刷した。

なお、総務省において作成した在外投票用紙を在外選挙人名簿登録者数に応じて各市町村へ配付した。

② 投票所数

投票所は、県内で606箇所あり、そのうち投票所の閉鎖時刻を繰り上げたのは全18市町村で、繰り上げ数は、1時間の繰り上げが202箇所、2時間の繰り上げが196箇所、3時間の繰り上げが43箇所、4時間の繰り上げが10箇所の、合計451箇所であった。

③ 投票率

全国の投票率は、選挙区で男性49.42%、女性48.22%の平均48.80%、比例代表では男性49.41%、女性48.22%の平均48.79%であった。大分県の投票率は、選挙区で男性50.83%、女性50.28%の平均50.54%、比例代表では男性50.83%、女性50.28%の平均50.54%であり、選挙区、比例代表ともに全国で16番目に高かった。

④ 無効投票

無効投票は、選挙区で投票総数489,969票のうち13,409票で無効投票率2.74%（全国平均2.53%）、比例代表については投票総数489,912票のうち15,550票で無効投票率3.17%（全国平均3.08%）となり、いずれも全国平均を上回る結果となった。

（3）開票状況について

① 開票状況

投票日当日、各市町村の開票区ごとに開票を行った。確定が最も早かったのは、選挙区は九重町と玖珠町で午後8時40分、比例代表は九重町で午後10時15分であった。最後に確定したのは、選挙区は日田市で午前0時20分、比例代表は大分市で午前6時07分であった。

② 開票速報

投票速報の速報の受理、集計及び記録を行うため、正庁ホールに速報本部を設置し、発表は県庁舎本館議会棟第6委員会室で行った。

速報処理に関しては、電話・ファックス16台、パソコン9台を使用した。

速報に要した人員は、総括責任者以下35人であった。

（4）選挙会及び当選証書付与について

参議院大分県選出議員選挙選挙会は7月24日午前9時30分から、比例代表選出議員選挙大分県選挙分会は同日午前10時から、県選挙管理委員会室で開催された。

当選証書の付与は、同日午前11時30分から県庁舎本館議会棟第6委員会室で行った。

（5）選挙公営について

① 政見放送

参議院大分県選出議員選挙の政見放送は、候補者が行い、テレビは7月12日から7月17日までの間にNHK2回、OBS1回、TOS1回、OAB1回の計5回、ラジオでは7月9日から7月18日までの間にNHK2回、OBS1回の計3回が放送された。

② 選挙公報

選挙区、比例代表を合体して新聞紙大（ブランケット版）の用紙に印刷し、7月7日に各市町村へ発送した。選挙区は全候補者の3人について1ページに、比例代表は13政党を7ページにわたって掲載した。

③ ポスター掲示場

ポスター掲示場の設置箇所数は3,792箇所、ポスター掲示面の区画数は6区画であった。

3 明るい選挙推進運動について

振興局単位で「新有権者」による街頭啓発を行った。街頭啓発では、人が集まりやすい大型商業施設等の場所において、投票参加を呼びかけた。また、新聞、テレビ、ラジオ、広告塔、横断幕、広報車、大分県のホームページ等を通じて、選挙制度の周知や投票参加の呼びかけを行った。